

## 授業科目

## 装具学特論実習

担当教員名 笹本 嘉朝、高橋 素彦	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

## 授業の概要

義肢装具士に求められる実践的な技能を身につけるために、症例もしくは仮想症例を通じて、医療面接、機能評価、採寸・採型、製作、および適合技術と関連する問題解決能力を修得するために必要な実践的な講義を行う。

## 授業の目的

義肢装具士に求められる実践的な技能を身につけるために、症例もしくは仮想症例を通じて、医療面接、機能評価、採寸・採型、製作、および適合技術と関連する問題解決能力を修得する。

## 学習目標

1. 医療面接を正しく行える。
2. 機能評価を正しく行える。
3. 得られた情報から装具の使用目的を明らかにし、これに合致するデザイン検討が行える。
4. 採寸・採型・トレースなど、対象身体部位の形状獲得作業が正しく行える。
5. 材料加工、装具構成要素の組立てを正しく安全に、かつ効率的に実践できる。
6. 装具の対象者への適合と評価を的確に行うことができ、適合に関する問題に正しく対処できる。
7. 情報整理、記録、およびこれらの報告が正しく行える。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-4	医療面接	実習	笹本 嘉朝、高橋 素彦
5-8	機能評価	実習	笹本 嘉朝、高橋 素彦
9-12	得られた情報に基づく装具のデザイン検討	実習	笹本 嘉朝、高橋 素彦
13-16	身体形状獲得および修正	実習	笹本 嘉朝、高橋 素彦
17-20	材料加工と組立て	実習	笹本 嘉朝、高橋 素彦
21-24	仮合わせ適合のプロトコールと問題解決	実習	笹本 嘉朝、高橋 素彦
25-28	症例プレゼンテーション	ディスカッション	笹本 嘉朝、高橋 素彦
29-30	まとめ		笹本 嘉朝、高橋 素彦

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	装具学特論に準ずる。					
その他の資料	單元ごとに必要な資料を配布する。					

## 評価方法

以下の二項目で評価する

1. 技術レベル（臨床・製作工程および成果物による評価）
2. 知識レベル（ケースレポート）

## 履修上の留意点

装具学特論と併行して進めるため、相互理解が必要である。  
授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。

## オフィスアワー・連絡先

授業に関する質問等は下記まで。

笹本：月曜日3限

sasamoto@nuhw.ac.jp (L309)

motohiko-takahashi@nuhw.ac.jp (L308)